

# し 志 ぶ 志



市議会だより

No.26 2012.8.10発行

『田舎暮らし通学学舎』



“みんな元気に行ってきまーす”



学校再編	3
一般会計補正予算	4
八野小跡地の貸付け先決まる	5
8議員がっっぱん質問	8



# 6月定例会

平成24年6月定例会を6月8日から29日までの22日間開きました。平成23年度予算最終補正の専決処分承認や、蓬原保育園、西光保育園の建替えやおおぞら保育園の改築費用などを盛り込んだ、24年度一般会計の補正予算や八野小学校跡地利用にともなう財産の無償貸付けなど、議案9件を審査しました。

一般会計補正予算は、原案可決となり、他の議案及び発議2件は原案どおり可決し、「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書」と「北朝鮮による拉致問題の早期解決に関する意見書」を国に提出しました。

一般質問は8名の議員が保健福祉、教育行政、観光行政、環境政策などについていただきました。

## 旧八野小学校跡地利用先決定

### 財産の無償貸付について

旧八野小学校の跡地利用に伴い、地方自治法の規定により、財産を無償で貸し付けることについて、議会の議決を求める。

貸付けの相手方  
社会福祉法人 若草会

貸付けの期間  
貸付契約締結の日から平成29年3月31日まで

本会議での質疑応答  
委員会での質疑応答は5頁

**Q** 体育館、校舎を利用するが、耐震化対策についてはどうか。

**A** 跡地利用については、耐震化については、対応するという内容での公募はしていない。営利を営む団体も進出してくる可能性があると考えたので、募集要項には盛り込まなかった。

若草会は、児童福祉の向上を目指す団体なので何らかの対応は必要と考える。

**Q** 補助金の返還を国から要求されないのか。また、古い施設であるが修繕等に対する負担の考え方はどうか。

**A** 貸付けについては事業完了後10年以上経過し、無償による転用のため報告のみである。修繕等については、今後契約書などを取り交わす中で配慮していきたい。

(全会一致で可決)

### 議員表彰

全国市議会議長会より、永年勤続議員として3名が表彰され、6月定例会で、表彰状の伝達が行われました。

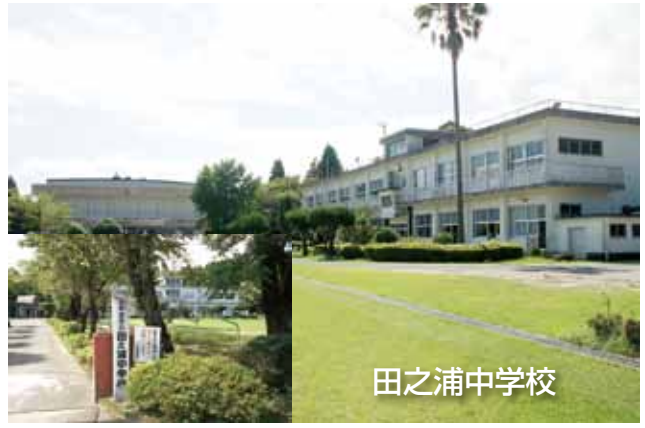
- 15年以上  
丸崎 幹男 議員
- 10年以上  
福重 彰史 議員
- 岩根 賢一 議員

※表彰規定により町議の年数は1/2で換算





出水中学校



田之浦中学校

# 学校再編 田之浦中学校 出水中学校

## 条例

志布志市立学校条例の一部を改正する条例

志布志市学校再編基本計画及び第1次実施計画に基づき、志布志地区の田之浦中学校及び出水中学校を志布志中学校へ編入統合することに伴い、田之浦中学校及び出水中学校を廃止する。

### 本会議での質疑応答

委員会での質疑応答は6頁

**Q** 適正な教育水準、規模をどう考えて2つの中学校を1つに統合することになったのか。

**Q** 本来、教育水準は国が示し、それに基づいて対応する。子どもは生まれる地域は決まっ

**A** 中学校は教科担任制である。国の政策などもあり、生徒数に応じて教員の配置が決まっているため、全教科の先生を揃えられない。当然そこでは教育水準を十分に確保できない。それに近づけることが教育水準を平等にするという理解している。



志布志中学校

# 志布志中学校へ 編入統合

ていない。国・県が対応していないためこういうことがおきている伊崎田中が適正な規模と判断しているのか。

**A** 適正規模とは思わないが、意見が醸成されていないと感じた。強引に進めることはできない。

今のままで伊崎田中、松山中が良いとは思っていない。

今回は出水中、田之浦中は統合やむなしということだった。伊崎田中もそういう気運が醸成される時期が来るのではないかと思っています。

(全会一致で可決)



県市議会議長会  
定期総会が本市で開催

平成24年7月19日から20日にかけて、県下19市の市議会議長が一堂に会し、定期総会が志布志市で開催されました。

活動としては、年二回の定期総会を行い、各々が抱える諸問題などに関する議案を協議し、その内容について、春と秋に、関係省庁、県選出国会議員へ要望活動を行っています。

交換会では、丹下副知事が「鹿児島2012 観光・食・地域主権」と題し講演がありました。

# 一般会計

## 6月補正予算

# 3億7314万1千円を追加

## 予算総額は183億9614万1千円に

一般会計は、平成23年度一般会計補正予算(1億6112万4千円追加、196億3802万8千円)、都市計画税条例改正など専決処分を承認し、農作業道整備などの農業体質強化基盤整備促進事業費4900万円、志布志地区中学校統合施設整備事業費200万円などを計上した1号補正を可決しました。

**A** 通山小学校有明中学校を考えている。モデル校で取り

**Q** 実践的防災教育のモデル校はこの学校なのか。また、児童生徒を被災地に派遣するのか。

**各委員会での質疑応答は5頁から本会議での質疑応答**

ら保育園の改築工事に伴う経費を計上した2号補正も可決しました。



組んだ成果を市内の各学校に広げていく。被災地へのボランティア派遣は考えていない。今後、ボランティア活動に自ら進んで参加する児童生徒の育成に視点を置いている。

将来を担う子どもたちの教育は極めて重要であり、子どもたちが全国どこに住んでいても教育の機会均等が担保され、教育水準が維持向上されるため、①OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため30人以下学級を推進

**意見書**  
30人以下学級実現  
義務教育費国庫負担  
制度拡充に関する意見書  
(要旨)

### 意見書

### ●6月補正の主な内容

会計名	補正額	補正後の額	
一般会計	1号	1億6673万3千円	183億9614万1千円
	2号	2億640万8千円	

### 一般会計補正予算の主な事業

- 農業体質強化基盤整備促進事業** …… 4900万円  
農地区画整備済地域における、農作業道の舗装整備と排水不良農地の暗渠排水の整備
- 畜産生産基盤施設整備事業** …… 310万円  
畜産経営の環境保全を図り、省力管理及び防疫対策にともなう施設整備
- 県単林道改良事業** …… 800万円  
林道陣岳支線における法面の落石、くずれを防止するため、法面保護による整備
- 観光振興計画推進事業** …… 111万円  
志布志市観光振興計画を推進するため、関係機関による協議会設置及び観光振興計画基本構想図を作成
- 志布志地区中学校統合施設整備事業** …… 200万円  
志布志地区の3中学校を1中学校に再編するにあたり、統合校となる志布志中学校に通学バス待合所・駐車場・屋外トイレを整備、平成24年度は設計業務委託
- 実践的防災教育総合支援事業** …… 205万円  
東日本大震災における教訓を踏まえ、モデル的に緊急地震速報システムを設置し、防災教育の指導方法や教育手法の開発・普及や専門家による指導・助言をおこない、学校における防災教育・管理の充実を図る
- 健康ふれあいプラザ給湯設備改修事業** …… 1037万円  
志布志市健康ふれあいプラザの給湯設備を改修し、サービスの維持・向上を図る
- 保育所緊急整備事業** …… 2億641万円  
蓬原、西光保育園の建替え及びおおぞら保育園の改築に要する費用の一部を助成

すること②義務教育費国庫負担制度を堅持し、国庫負担割合を2分の1に還元することを強く要請する。

内閣総理大臣をはじめ関係機関に提出しました。

「協働労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書

汚染がれきの受け入れ拒否を求める陳情書

消費税増税に反対する意見書の提出を求める陳情書

の3件は継続審査となりました。

### 受け入れた行政視察

5月17日(木)  
長野県安曇野市議会  
・環境対策について  
・畜産振興と環境対策について

7月5日(木)  
鳥取県三朝町議会  
・国民宿舎について

# 八野小跡地の貸付け先決まる

## 総務委員会

24年度一般会計  
補正予算(第1号)

Q 合併特例債の残りはどれくらいか。

A 平成18年度から27年度までの起債可能額133億円のうち、7割の95億円を使う計画がある。

その65%の61億5800万円ほどを使っており、残りは33億円余りである。

Q アピアの高度化資金の償還はいつまでで、残額はいくらか。

A 9億6500万円の借り入れで残りが6億8400万円である。本来の償還期限は平成28年度であるが、それまでに半額を償還すれば、期間を10年間延長してもらえらることになっている。

Q 行政告知放送端末設置事業が補助金ではなく委託料に組み替えてあるのはなぜか。

A 補助金であれば所有

権は市民にあり、維持管理も個人で行うことになる。交付金事業で設置した人と差が生じることになるため委託料に組み替えた。申請から設置まではこれまでと同じ流れであるが、今後は支払先が個人ではなく設置業者となり、個人にとっては補助金を受け取って業者に支払う手間が省けることになる。

Q 消防団員の退職慰労金の今後の支出の見込みはどうか。

A 合併時に在籍していた団員が退職するときに規定により支払うもので、今後、250名分、約4381万円支出する見込みである。

財産の無償貸付けについて  
廃校となった八野小学校の跡地を本市の市立保育所の移管先でもある社会福祉法人若草会に無償貸付けする提案である。

Q 市立学校跡地利用候補者選定委員会が地元の人々の想いは反映されたのか。

A 委員の中に地元の小企業診断士、税理士、八野地区再生委員会の委員長、八野校区公民館長も入っており、地元の立場で質問もされ、意見も述べられたので、地元への想いは反映されていると思う。



旧 八野小学校

## 陳情

移動通信用施設名の変更に関する陳情書

この陳情は地域情報通信基盤整備事業により志布志町の天堤(あまつつみ)地区に建てられた鉄塔の名称が田床(たどこ)局となっているがこの事業実現のために地元は土地提供をし、りして協力してきた。今後も地元で除草などして管理をしていきたいと考えている。そこでこの鉄塔の名称を設置してある地区の名称に変更してもらいたいというものである。

執行部からは次のような説明があった。

この鉄塔は携帯電話の電波不感地区をカバーするために建てられたものであり、名称はその不感地区の名称をつけることになっている。

名称を変更するには議会の議決が必要であるのに、この名称変更の要望があったときに「NTTに電話してくだわう」と間違った回答をした。

## 賛成討論

地域の人が見守り、管理していききたいという愛着心があり、地元の名称にしてもらいたいという要望があるのであれば、それに対応すべきである。

## 採択



# 学校条例の一部改正を全会一致で可決

## 文教厚生委員会

### 志布志市立学校条例の一部を改正する条例

子どもたちの意見や地域の合意が大事であるが、十分に住民への説明、保護者とのやり取りを行ったか。

アンケートを基に協議を重ね、骨子案の作成段階でも地域の方々の意見交換会を行い、地域が反対すれば統合を前提に進めることはないと言明し、5年間にわたり議論して地域の意見がまとまるまで待ち、十分説明し合意の集約がなされたと理解している。

統廃合が進んだ後で保護者への負担増は一切ないか。

PTA活動は会員が増え負担の軽減になると感じている。また、通学に対してスクールバスの配置をして通学の環境を整えていく。在学中での制服の購入をすることとなった場合は、何らかの助成を考えると必要はない。

スクールバスの運行内容は。

4つのコースに10人乗りジャンボタクシー4台で、平日3回、登校時1便、下校時に2便、土曜日、夏休み、冬休み、春休みについては朝1回、下校時に1回、日曜日は年間30回の運行を予定している。

保護者、生徒の不安解消のための交流授業は。

統合が決まれば、最低でも学期1回は3校(田之浦小、潤ヶ野小、森山小)の交流学習が必要ではないかと考えている。

### 24年度一般会計 補正予算(第1号)

障害児保育の実施園数と利用人数、その後の状況は。

現在、5保育園で6名の利用である。

実践的防災教育総合支援事業の内容と次年度以降の取り組みは。

実践モデル校として、通山小学校と有明中学校で、緊急地震速報通信システムの設置を行う。今後、市内23校に広め、

市全体の防災行政としての連携を考えている。

志布志中学校通学バス駐車場整備事業に伴う債務負担行為について取得予定の土地をどのように利用するのか。

土地は4筆で、駐車場の整備、通学バス待合所として整備する。

節電対策として、庁舎内の取り組みは何か。

庁舎内の取り組みとして、冷房温度は28度C、湿度70パーセント以上でないと冷房は入れない。また、玄関の自動ドアは、職員は利用しない。本庁及び松山支所において、緑のカーテン事業を実施している。

### 財産の無償貸付け(蓬原保育園)について

定数の変更について市の就学前の児童の数をどう予測し、県からの意見に対し了解した根拠は何か。

就学前の児童は減少しているが、入所希望は毎年増えている。希望の

保育園に入所できない方も多くなっている。

### 24年度一般会計 補正予算(第2号)

保育所緊急整備事業に係る国の基金が無くなり、補助事業が終わるかもしれないが、市としての考えは。

国・県の補助分まで補助するのは厳しいが、現在の市の補助である全体事業費の四分の一は、今後も考えていく。

市内の民間移管している施設で、今後改築等の計画があるのか。

当初、園に通知したところ6園の応募があり、今回3園で実施、まだ3園は残っている。

### 志布志市印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例

今回の法改正では結婚、仕事で日本在住の外国人は在留期限が来たら出国しなければならぬが、それが無くなるのか。

住民登録するために在留カードが発行され、最長5年間は再入国の手続きが簡略されるものである。

### 陳情

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択について

陳情の趣旨から、1学級の生徒は何人ぐらいが望ましいと考えるか。

何人という数字は言えないが、最初の60人学級と今の40人学級の状況は、時代が異なり、置かれている状況が違っているのではないかと考える。

### 賛成討論

国庫負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられ本県をはじめ大変厳しい状況にある。教育条件の改善から国庫負担を元に返して、教育の環境条件を整備できるよう意見を上げていただきたい。

### 採択

# 道路新設改良費5800万円を増額

## 産業建設委員会



弓場ヶ尾・佐野原線改良工事の予定箇所

24年度一般会計  
補正予算(第1号)

交付金内示を受け、道路新設改良費を増額補正する。

Q 弓場ヶ尾・佐野原線の全面改良の完了予定は。

A 未改良部分が285mあり、本年度は185mの予定で、翌年100m工事をすれば完了予定である。

Q 社会資本整備総合交付金事業の内示額は総額か、路線ごとに交付されるのか。

A 内示は総額で交付され、市の方で路線別に振り分ける。

Q 農道整備に関する補助事業を行う場合、耕地面積等の制約があるのか。

A 面積による制約はなく、ほ場整備済みの地区であれば採択される。

Q 林道陣岳支線の法面保護工事は吹き付けにするのか、それとも防止網にするのか。

A 一般的な土質と違うため、専門家のアドバイスを参考にしている。

Q 林道陣岳支線の法面保護工事は、連続して200m行つのか。

A 部分的に悪い箇所だけ行い、全体で200mの工事をする。



林道陣岳支線の崩落現場

Q 畜産生産基盤施設整備事業について、今回要望があがっている鶏舎や堆肥舎は、家畜伝染病や家畜排泄物法の対応がなされているのか。

整備である。

Q ブランド推進事業の食肉脂質測定器はどこで管理し、どのように活用するのか。

A 市の畜産課で管理し、肥育農家で構成している肥育ブランド協議会の出荷牛の数値を測定し、えさの見直しに活用していきたい。

A 鶏舎については、対応済みで網を頑丈にするための改修である。堆肥舎については、1件は対応済みで規模拡大をする。もう1件は浄化機能を向上させるための



小野 議員

# 見守り体制の強化を図れ！

## ▼重層的なネットワークを作る

**小野 副議員** 孤立死の要因である、一人暮らしの高齢者が年々増える中で、一方で地域のコミュニティの希薄化も進行し、深刻な事態も生まれている。本市の地域住民、関係機関、行政の包括的な見守り体制の在り方の現状と課題を示せ。

**市長** 地域社会から孤立している世帯や生活困窮世帯のうち、行政関与がない場合などの実態把握に苦慮している。情報を一元化し、必要な支援に結びつける体制づくりは喫緊の課題である。今後は、重層的なネットワークづくりに取り組む。

### 生活福祉資金の周知を

**問** 生活福祉資金貸付事業は、2009年度から貸付け要件の緩和などが図られている。社協が窓口だが、市と



近隣福祉ネットワーク活動

しても失業や減収などで困窮する市民の生活再建のために、活用を推進を積極的に図るべきではないか。

### 事業の啓発活動を図る

**市長** 貸付要件の緩和により、本市でも緊急小口資金の貸付件数が増加しており、生活困窮者の救済となっている。必要な方に有効に活用してもらい生活再建の一助となるよう、社協と連携を取りながら、事業の啓発活動を行

### 災害時要援護者支援策は

**問** 防災・減災については、東日本大震災以降、さまざまな角度から被害を最小限にするための検証が行われている。なかでも、災害時に要援護者がもれることなく避難できる体制づくりは急務である。本市の支援体制の進捗状況と対応策を示せ。

進めたい。

### 個別支援計画を整備する

**市長** 支援者の登録、個別支援計画は、整備を進めているが、個人情報保護の観点から本人の同意が必要となり、なかなか進まない状況にある。今年度は自治会長にお願いし、個別支援計画等の整備を進める予定である。

### 防災対策に女性の視点を

**問** 東日本大震災以降、避難所に女性の着がえる場所がない、授乳スペースがないなど、既存の防災対策に女性の視点が欠落している実態が浮き彫りになっている。本市でも、女性の視点を積極的に防災施策に取り入れるべきではないか。

### 女性の意見を取り入れる

**市長** 庁内に防災対策関連の検討委員会を立

ち上げる予定にしている。女性に配慮した内容はもちろんのこと、委員にも積極的に女性職員を登用し、女性の意見を取り入れていきたい。また、防災会議への女性委員の登用についても協議したい。

### 学校の防災機能の強化を

**問** 学校施設は、児童生徒だけでなく、地域住民の命を守る地域の防災拠点である。安全性の確保、防災機能の強化を図る上では、学校施設の耐震化とともに、天井や壁などの非構造部材の耐震化も早急に実施していく必要がある。本市の学校施設における非構造部材の耐震点検・対策の実施状況を示せ。

### 非構造部材の耐震を図る

**教育長** 東日本大震災では、多くの学校で天

井材の落下など非構造部材の被害が発生しており、防災機能の強化を図る上で天井材や外壁材等の非構造部材の耐震対策が重要である。耐震化工事に合わせ、非構造部材の耐震化も実施したい。

### 通学路の安全対策を図れ

**問** 全国で登下校時の児童が死傷する痛ましい事故が立て続けに発生している。惨事を回避するためには、通学路に危険・盲点はないか点検し、より一層、安全対策を強化しなければならぬ。本市の安全確保の現況を示せ。

### 通学路合同点検を行う

**教育長** 8月末までの通学路合同点検の結果をもとに、危険箇所への対応策を、関係機関と連携して改善策を検討していきたい。児童生徒の安全確保については、今後七各学校への指導を徹底したい。





岩根 議員

# 空き家対策条例の制定を

## ▶年度内にはまとめたい



危険廃屋

**岩根賢二議員** 本市では「危険廃屋撤去補助金」の制度が始まり、空き家対策ではかなりの実績があがっている。しかし、この制度は家屋の持ち主の申請に基づき実施する事業である。

例えば、今にも倒れそうな家がとなりになり危ないがどうにかならないか」となるの敷地に草木が生い茂り蚊などの害虫が発生して困っている「空き家が少年たちのたまり場に

なっておりタバコなどで火事でも起きない心配だ」などの相談が寄せられたとき、行政側が助言や指導さらには勧告、命令までできるような制度を創設する考えはないか。

**市長** 苦情等が寄せられた場合は、持ち主に適切な管理をするよう相談に行っている。そのような条例の制定については、県内の自治体の動向を見ながら考えていきたい。

市長 苦情等が寄せられた場合は、持ち主に適切な管理をするよう相談に行っている。そのような条例の制定については、県内の自治体の動向を見ながら考えていきたい。

**問** 秋田県大仙市では行政側から助言・指導から勧告、命令、さらには代執行までできる制度を創設し、実際に代執行までして、費用請求まで行っている。一方、勧告に従い改善をする人に対しては補助金を支給できるようになっていて。このような条例制定に本市でも取り組んでみてはどうか。

**市長** 代執行は相当ハードルが高いと考えていたが、大仙市の例を研究し、方向性を見出しながら、本年度内にはまとめたい。

### 空き家バンクで積極的な活用を

**問** 空き家のうち居住可能な住宅について「空き家バンク」などの制度を作り積極的に活用している自治体は数多くある。本市でもそのような制度を創設する考えはないか。

### 取り組みを始めたい

**市長** 空き家については「危険廃屋」と「活用対策」の両方について

て、安全・安心なまちにするにはどうすれば良いか考えていかなければならない。市内には居住可能な空き家が400戸余りあるので、それらの情報を生かして業者と相談しながら取り組みを始めたい。





西江園議員

# 鉄道記念館の整備を

## ▼今の施設に壁の設置は厳しい

や財源の確保など厳しいが、地域と協議し、観光振興計画に基づく取り組みをする。

### 施設の充実には県内1位

市長 1人当りの施設の数では県内1位で受給率も4位である。

### なぜ福祉用具のリースはできないのか

市長 本市では退院前の住宅改修は行っていない。他市の状況や家族などの立ち会いの状況を調査したい。

### 他市状況を調査する

市長 本市では退院前の住宅改修は行っていない。他市の状況や家族などの立ち会いの状況を調査したい。

### 施設方針に「市民目線で市政運営を」とあるが

市長 徹底して市民目線での業務の執行を教育する。

### 職員に徹底する

市長 徹底して市民目線での業務の執行を教育する。

### 施設の充実には県内1位

市長 1人当りの施設の数では県内1位で受給率も4位である。

### なぜ福祉用具のリースはできないのか

市長 本市では退院前の住宅改修は行っていない。他市の状況や家族などの立ち会いの状況を調査したい。

### 他市状況を調査する

市長 本市では退院前の住宅改修は行っていない。他市の状況や家族などの立ち会いの状況を調査したい。

### 施設方針に「市民目線で市政運営を」とあるが

市長 徹底して市民目線での業務の執行を教育する。

### 職員に徹底する

市長 徹底して市民目線での業務の執行を教育する。



鉄道記念公園

市長 今までも屋根をかぶせたり、塗装などの修理をおこなってきた。現在の施設に壁を作るとなると強度や景観の問題から、現在は考えていない。

### 上町商店街にポケットパークの整備を

市長 志布支所前の上町商店街(昭和通)にある大慈寺には、全国から観光客が訪れる。しかし観光バスの駐車場

### 観光振興計画で取り組む

市長 この付近には駐車場や休憩所、トイレもなく観光客には不便をかけている。ただ、この一帯での整備は、土地の確保や地元の理解

### 介護保険料は県内4位と高いがサービスは

市長 今年から介護保険料が改正され県内でも4番目に高いが、市民へのサービスも県内でも上位か。

### 県内の状況を参考に

市長 県内の状況を参考にし、事業導入効果を研究する。

### 市住宅購入に助成を

市長 隣の曾於市ではすでに実施しているが、定住促進と地域経済対策として、新築や中古住宅を購入した人に助成する制度の創設は考えられないか。

### 説明不足だった

市長 その人の状態を見て、家族に状況を説明するが、その時、要支援でも福祉用具を使う場合があることを説明すべきであった。

### なぜ退院前に住宅改修はできないのか

市長 他市の市町村では、入院中に住宅改修をしてから退院している。安心して生活できる環境づくりを入院中に済ませている。しかし、志布支市は退院してから住宅改修がどうしても必要な場合に申請することになっている。これでもサービスは適正か。



小園 議員

# 脱原発首長会議参加の思いは

## ▶ 原発に対する国民の認識が変わった



東京での脱原発設立総会

**小園義行議員** 脱原発を目指す首長会議結成ということでも、市長も参加されている。国の方向に対して、異を唱える決断をされたと思っている。この会議に参加しようとした思いと、実現していくために具体的な行動をどうされようと考えているか。

**市長** 昨年の3月11日に東日本大震災が発生し直後に福島原発が事故を起こして原発に対

する国民の認識が高まった。原発というのは危ないとの認識を持たれたのではないかと思う。そのような中で、原発の推進については非常に危惧すべきものである。その原発が担っていたエネルギーの問題についてどうするか、そのことについても十分勉強させていただきたいとの思いで参加した。国全体として、原発をどうするのか、代替

エネルギーの開発をきちんとしていただくと考えている。

### 集団接種の見直しは

**問** 現在本市は予防接種については集団接種で行っている。

国が今年の9月からポリオの不活化ワクチンの導入を考えている。今後、国はもつと子供を守るための対応をす

### 個別接種を視野に協議

**市長** 今年度に入って郡医師会を通じ市内の医療機関に、健康上の理由などにより集団接種の実施が困難な方への対応として、個別に接種できないかアンケート調査を行った。調査の結果、個別での接種を受け入れてよいと大半の医療機関から回答をいただいている。今後、任意予防接種の種類や接種希望者も増えるものと予想しており、接種計画の管理も困難となるのが予想されるので、医療機

関での個別接種を視野に入れてしっかりと協議していく

### 税の減免対策は

**問** 昨年9月議会で、税金対策について、税の減免などを考えるのではないかと質問した。その時の答弁として、その方向で取り組むと答弁をされたが、その後の取り組みはどうか

もう少し時間を  
いただきたい

**市長** 現在、国の基準や地方税法に規定されている減免に基づき、やむを得ない事由の減



予防接種の様子

免基準を定めるために取り組みを行っている。本市においては、延滞金も含め真に納付困難な納税者については、地方税法第15条の7第1項の規定により滞納処分の執行を停止することに対応している。納期内納税者などの公平性、自主納税推進の観点から延滞金の減免については、その適切な取り扱いが重要と考えるので、しばらく時間をいただきたい。

他に  
・政治姿勢  
・児童福祉  
・学校教育  
について質問した。



平野 議員

# 環境アドバイザー育成の考えは

## ▼有益なものとして検討する

り住民のニーズや多方面からの意見集約など連携を保ちながら作成する。

### 民間の経験を活かした計画作成を

のカーテン事業・紙おむつ削減の研究会立ち上げなど両立した取り組みを行っている。

### 両立した事業推進が行われているか

**問** 国際協力機構（JICA）が実施する事業に参画し国際貢献も行っており、素晴らしいことだと評価する。一方、市内での環境政策（バイオマス・紙おむつ再資源化・レジ袋有料化など）が進んでいない。両立した事業推進が行われているのか。

### 共通する事業計画とは

**問** 社協の事務局長を職員研修として受け入れ、それぞれに共通する事業計画を策定していく、という答弁があったが、具体的にはどのようなものか。

### 地域福祉計画・地域福祉活動計画である

**市長** 市が作成する地域福祉計画は、地域福祉に関する事項を一体的に定める計画。一方、地域福祉活動計画は民間の事業者が相互協力して策定し、地域福祉を推進する行動計画である。どちらも策定過程・生活課題・社会資源の状況など、共有を図

### 一緒に考えていく

**市長** 同じような業種でネットワークを組み、お互い連携しながら福祉力を高めることは、いい方向性だと考える。今回の研修を機会に、その方向性に発展できるかということも一緒に考えていく。

### 平野栄作議員

これまで、環境行政を推進してきた市民の中にも高齢化が進展している。現段階でも、ごみ出し困難者対策は実施しているが、高齢化の進行により、ごみ搬出や分別などで支障をきたす高齢者は確実に増加すると考えられる。これらに対する対策を今後どのように進める考えか。

**市長** 高齢化に伴い分別・ごみ出しが困難になる状況は十分考えている。

市では「ごみ分別お助け隊」や「ごみ出し困難者対策事業」を展開しているので、活用してもらいたい。しかし、各地域単位でサポートする共生・共働の助け合い活動が重要と感じている。衛生自治会や公民館役員の協力を得られる



資源ごみ搬出状況

よう協議していく。

### 環境アドバイザー育成の考えは

**問** 安定した環境政策を推進していくという観点から、市民を活用した志布志市独自の「環境アドバイザー」を育成し、今後の環境行政に活かしていく考えはないか。

### 検討中

**市長** 市民の環境意識向上及び共生・共働自立の推進からも、有益なものと考えている。人材の募集・育成の方法、業務の内容・運営のやり方・名称も含めて検討中。

### 行っている

**市長** 平成23年度から3ヶ年、ジャイカ草の根技術協力事業として太平洋州におけるごみ分別モデル推進業務を本市が主体となつて実施し、市民関係団体・関係事業者と共働して参加している。一方、市の環境行政は従来の政策の推進に加え、バイオマス利活用研究会・チャレンジ30研究会・緑



鶴迫 議員

# どうなったか伊勢掘墓地

## ▶ 三角点を移転し、駐車場を整備



伊勢掘墓地

鶴迫京子議員

昨年12月議会で、「市営の伊勢掘墓地には、定められた駐車場がない。ロータリー式になっていない丘を、三角点部分も含め整備し、駐車スペースを確保できないか。また、広さの割にはトイレが、一箇所しかない。増やす考えはないか」と質問した。市長は「調査し、きっちり整備していく」と答弁した。半年経過したが、どうなったか。

市長 現段階では、ロータリー部分の一部を

削り、とりあえず駐車スペースを確保する。墓地利用や駐車場の設置など考えると、三角点は移転する方向で、国土地理院と協議を進めていく。移転後に駐車場を整備する。また、水洗トイレ設置は、墓地が空いた段階で考える。とりあえず、簡易トイレを設置する。

### ふるさと大使の活用を図れ

問 志布志ふるさと大使の設置状況と、内容は。

市長 現在、株式会社「ふじやま学校」関連の坂本貴弘氏・許國豪氏・北山邦子氏・西田美佐氏と三遊亭圓歌師匠の5人に委嘱。引き続き、綾小路きみまろ氏も予定している。特典はないが、名刺など作成し、特産品普及、宣伝及び観光振興に努めてもらっている。また、ふじやま学校関係者には、ブータン王国に対して志布志モデルで技術協力することへの事業推進にも、協力をもらっている。設置要綱では、定数20人以内、任期は

2年(再任も可)、報酬なし、任務遂行のための名刺・特産品・広報紙・ほか刊行物を提供することができるかと定めている。

### 郷土会員をふるさと大使へ・議会だよりの送付を

問 ふるさとへの熱い想いで結成された関西志布志会・関西べぶんこ会・関東志布志会などの郷土会員を、ふるさと大使に任命する考えはないか。また、市報といっしょに、議会だよりの送付はできないか。

ふるさと大使をお願いする・議会だよりの送付は取り組む

市長 それぞれ会長を任命していたが、役員を辞められ任期も切れている。今後、会長を中心にふるさと大使をお願いしていく。また、議会だよりの送付は可能なので、取り組みを進めていく。

### 進んでいるか観光キャラクターの導入は

問 観光キャラクター導入について、今年3月議会で一般質問した。また、観光振興計画の観光プロモーション展開の中にもうたわわれているが導入への進み具合はどうか。

### 早ければ来年度、事業化

港湾商工課長 今年度、職員のプロジエクトチームを立ち上げ検討し、(仮称)推進協議会の中に挙げる。早ければ来年度、事業化していく。

### 香月校区公民館の駐車場の舗装整備は

問 香月校区公民館の駐車場は、狭い出入り口を、出口専用・入り口専用の2箇所、別にして危険を回避する。また、高齢者や保育園児の送迎など、特に雨天時は危険が大であるが、駐車場の事故等に配慮した安全確保のために、舗装整備する考えはないか。

教育長 公民館が、多目的に使われていると認知している。広場としての駐車場が、大変な危険をはらんでいるという現場を精査し、利用者や公民館の意見を聞き、段階的に整備する。

また、防災・津波対策など担当課とも相談し、駐車場のあり方を十分に検討する。

誰でも分かる誘導板を

問 市内の公民館や駐車場の場所が、誰でも分かるように表示や看板の設置がされているのか。

前向きに解決する

教育長 誘導表示の看板や、駐車場の場所表示がない公民館がある。前向きに解決する。

生涯学習課長 川西地区は、誘導看板がないので計画する。志布志地区公民館の分館駐車場は、発注済み。松山地区は、当面、手作り看板を準備中である。



東議員

# グラウンド・ゴルフ専用場を

## ▼協会・関係者の意見等十分賜り進めたいと考える

**東 宏二議員** 年々グラウンド・ゴルフ愛好者が増えていることは市長も承知している。本市では数多くの大会があるが、専用場がないためグラウンドコンディションが悪い会場で大会をしている状況である。

また、さんふらわあ全国交流グラウンド・ゴルフ大会も開催されている。体育館東側の市有地を専用グラウンド・ゴルフ場にできないか。

市長 現在ふれあい広場を中心として公園、

本気度は

問 やる気があるのか。

やる気はある

市長 先ほどから答弁している。やる気はある。まだいろいろ整理していくことがあるので承知してもらいたい。

**枇榔島の栈橋は修復できないか**

問 昨年の台風で栈橋が破損して、いまだに修復していない。

12月議会で質問したが、市長の答弁で地権者、権利者、また大隅森林管理署と協議し検討するとの答弁であったが、その後どう推移しているか。

検討中

市長 協議の経過であるが、栈橋を市が関与



グラウンド・ゴルフを楽しむ市民

スポーツ審議会ですべて検討していく

**教育長** スポーツ審議会の中で、本市のスポーツ施設、あるいはスポーツの競技力向上のためのさまざまな課題を検討し、よりよい志布志の健康増進をも含めて競技力向上に努めていけたらと考えている。



修復されていない栈橋

して建設するとなると、安全度の高い形で整備しなければならぬので、現時点での復旧に関しては、中長期的な展望の中で検討していきたい。



下平 議員

# 介護支援ボランティア・ポイント事業の取り組みは

## ▶ 県の事業は25年度に実施する

**下平晴行議員** 国は介護支援ボランティア・ポイント事業を2007年から開始している。自治体が介護支援に係るボランティア活動をを行った高齢者(原則65歳以上)に対し、実績に応じて換金可能なポイントを付与する制度である。介護保険料を実質的に軽減する制度で施設や地域でボランティア活動をを行うことにより、本人の健康増進、介護予防、社会参加、地域貢献を通じて生きがい作りができることを目的としているが、導入する考えはないか。また、県は今年度から県単独の同助成事業を立ち上げたが、導入についてどうか。

**市長** 高齢者の健康づくりや介護予防に繋げ、市が活性化するように事業になるように今後検討を重ねる。県の事業については、今年度で体制づくりをして25年度に実施する。

**問** 市独自の制度で、

**市独自の助成事業の展開は**

元気なうちにボランティア活動を蓄えて、その介護医療を受ける立場になった時に、使える助成事業を展開する考えはないか。

**協議はしているが、様々な整備が必要**

**市長** そのポイントを自らの介護に充てることは協議をしているが、様々な整備が必要である。

**市民の意識調査の取り組みは**

**問** 住みややさや、定住意識、愛着心、施策の分野における市民ニーズの基本動向を把握、分析すると共に、実施した意識調査を、今後の施策展開の基礎資料として、取り組む考えはないか。

**見当がつかないので、勉強したい**

**市長** 総合的な政策について、その都度どういった認識のレベルか把握していない。今のところ、見当がつかない。

いので勉強したい。

### 通学路の安全対策は

**問** 京都府の亀山市で登校中の小学生の列に無免許運転の少年が運転する車が突っ込み10人が死傷する事故があった。

その後このような悲惨な事故が発生している。本市でも、いつ起きてもおかしくない通学状況であるが実態調査をしたのか、その対策についてどのような協議をしたか。

**関係機関と協議して安全確保に努める**

**教育長** 夏季休業中に通学路における合同点検を完了し、対応策や改善策について、関係機関と協議し、児童生徒の通学路における安全確保に努める。

**市内の全学校周辺の調査と協議は**

**問** 独自で市内の全学校周辺と幹線道路を主に調査をしたが、特に

出水中学校、潤ヶ野小学校の通学路が幅員も狭く、いつ事故を起こしてもおかしくない状況である。市としてどういう協議をしたか。

**整備をお願いしている**

**市長** 県道については、特に県議と地元現場を調査して、その路線の危険性、重要性について整備をお願いしている。

**幹線道路の街灯、防犯灯の管理は**

**問** 幹線道路に市が設置した街灯は市が管理している。幹線道路に

自治会が設置した防犯灯の管理は自治会が管理することに、市民の不公平感を思うがどうか。

**全市的なかたちで公平感をもたせるため調査する**

**市長** 自治会には十分な説明もできず不公平感が生じたことは申し訳なく思う。全市のかたちで公平感をもたせるため調査する

他に  
・携帯電話の難聴地区対策について質問した。



県道設置の防犯灯

先日、市内の花生産者「奥様方のフラワーアレンジメント教室」に同席して一緒に生け花を楽しむ機会がありました。

8種類の花々を講師の先生の手ほどきを受けながら、まず籠の芯になるカーネーションを3本生けて、次にミニバラ、トルコ桔梗等々とバランスを考えながら挿し、最後にかすみ草で空間をうめながら完成となりました。

人の顔がそれぞれ違うように、同じ材料で一緒に講習を受けながら生けても、一人ひとりの感性で、それぞれ趣の違う作品ができあがり、不思議なものだと感じさせられました。

我々、人間社会も同じで一つの花だけ目立ってもいい作品にはならず、それぞれが他の花を支えながら自己表現もしながら、いい作品ができあがる。

私達もお互いに助け合いを合せて、それぞれの地域の特色を

## 議員控室 「支え合い」 金子光博

持ったより良い社会を作り上げたいものです。  
皆さんもたまには、自分の好きな花を自分への褒美として生けられたら新しい発見があるかもしれない!!



### 表紙の写真



6/9から8日間、7/7から8日間有明農業歴史資料館・体験館で『田舎暮らし通学学舎』が開催され、市内の小学生が寝食を共にしました。期間中は、同施設から学校に通いながら朝夕の食事の準備や片付け、掃除、洗濯を分担し共同生活を体験しました。

## どうぞ傍聴席へ 次回定例会は9月です

開会中は、本会議の様子をケーブルテレビの112チャンネルで生放送しています。

また、当日の午後8時から録画再放送もあります。是非ご覧下さい。

◎インターネットでもライブ中継を公開しています。

志布志市ホームページからご覧ください。  
ライブ中継⇒志布志市トップページ≫議会中継≫議会中継(ライブ中継)へ

## 編集後記

鶴迫 京子



今年3月、文化センターで本市ゆかりの林弘樹監督「ふるさとがえり」が上映された。13の町が合併した岐阜県恵那市の市民5万6千人、全員参加し心の合併を願う5、6年かけて制作された映画。主人公カンジと3人の少年が「ふるさと」の平和を守る亀の子団」結成。しかし、カンジは映画監督への夢を追い、故郷を捨てる。20年後帰郷。故郷の現実。消防団活動で地域を守る昔の仲間たちの姿。ふるさとを振り返り見なかったカンジの心の葛藤。映画監督になれるという少年時代の夢が叶う直前、突然の末期がん転移。志が絶たれる、予期しない結末。涙せずには、いられなかった。感動の中、思いを深くした。「ふるさとがえり」言葉が響く。あらためて地域を、我がまち「志布志」を見つめ直す機会となった。

東日本大震災から1年4ヶ月。あの日起きたことを忘れないことが、復興への一助になるのではないかと思う。

### 広報等調査特別委員会

委員長	坂元修一郎	金子	光博
副委員長	平野 栄作	岩根	賢一
	鶴迫 京子	東	宏一
	本田 孝志	小園	義行
	長岡 耕二		

### 発行責任者

志布志市議会議長 上村 環